

TOSHIBA

東芝避難口誘導灯・室内通路誘導灯(電源別置)取扱説明書

〔片面灯〕 FBL-3151

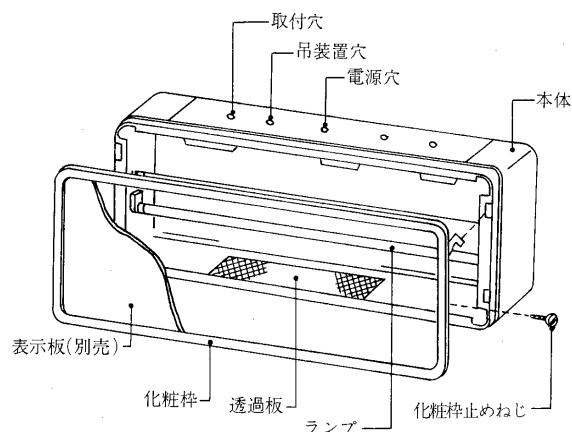
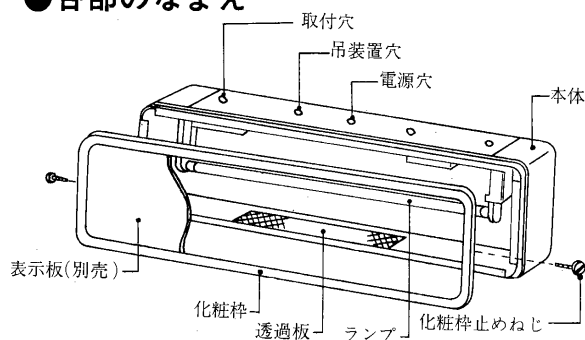
〔片面灯〕 FBL-4251

〔両面灯〕 FBL-3152

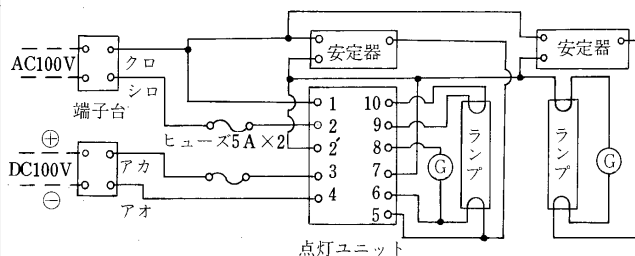
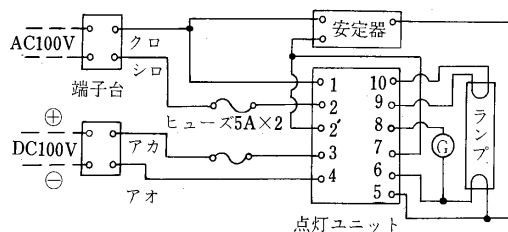
〔両面灯〕 FBL-4252

このたびは東芝避難口誘導灯・東芝室内通路誘導灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。お求めの誘導灯を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

●各部のなまえ



器具の回路図



東芝非常用照明器具・誘導灯点検カード

設置 年 月 日 設置場所

点検責任者

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	

切り取って必ず保存してください

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられております

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください

特にご注意を

- ① 必ず電源周波数に合った器具をお使いください。
蛍光灯器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのもとになります。
- ② この器具は天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井板などに取り付けますと、ねじ止めが弱く、衝撃や振動などで器具が落下するもとになります。
- ③ 誘導灯の電源は昼夜連続給電してください。
- ④ 三カ月に一回、定期的に非常点灯を行ない、点灯状態を確認し、器具に付属の点検カードにその結果を記入してください。
- ⑤ 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。
- ⑥ 電源配線は4線引配線・2線引配線のどちらも配線可能です。
- ⑦ この器具の直流点灯(DC100V)は非常時のみとし、また点検の際も点灯時間は2時間以内にしてください。平常時にも直流で長時間点灯しますとランプや点灯ユニットに異常を生じる危険がありますので絶対におやめください。
- ⑧ 内蔵のインバータ(点灯ユニット)の光束標準電圧は85Vに設計してありますので終止電圧は器具端子で85V以上になるよう非常用直流電源装置を選定の際はご注意願います。
- ⑨ 直流電源の電圧変動範囲は145Vから85Vにおさえるようにしてください。
- ⑩ 誘導灯に使用される直流電源装置は蓄電池設備以外は認められておりませんのでご注意ください。
(直流発電機は使用できません。)

器具の取り付けかた

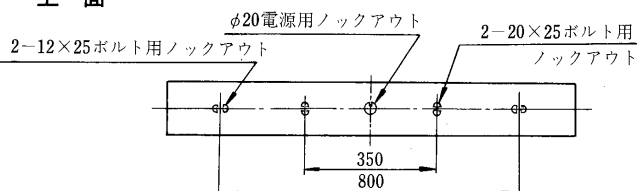
- ① 片面灯、両面灯とも、取付場所に応じ適切な取付穴を利用して取り付けてください。

片面灯の場合……背面に、ボックス用、直付用の取付穴が設けてあります。また上面にも両面灯と同じ穴加工を施してあります。

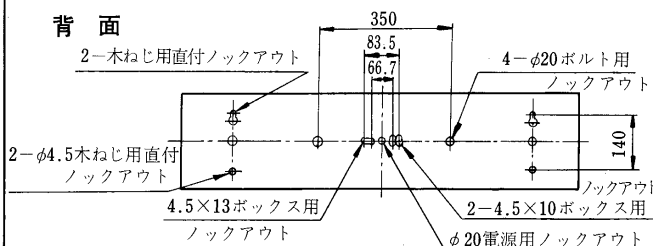
両面灯の場合……上面に、天井直付用、パイプ吊用の取付穴が設けてあります。なお、パイプ吊には、専用のパイプ吊装置が用意してありますので、別途ご用意ください。

FBL-3151 FBL-3152

上 面

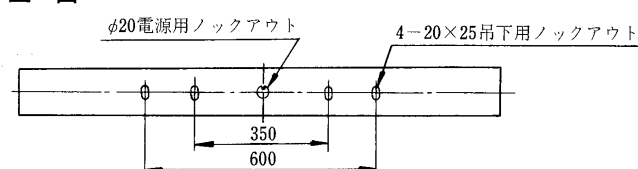


背 面

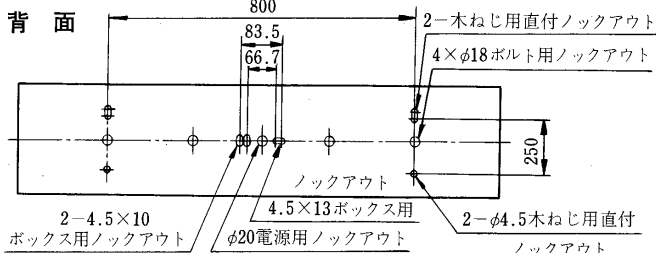


FBL-4251 FBL-4252

上 面

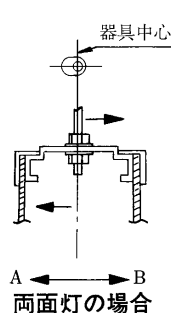
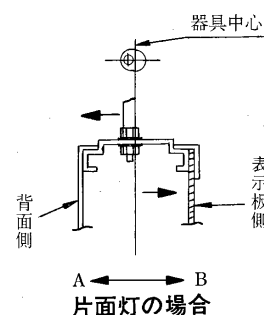
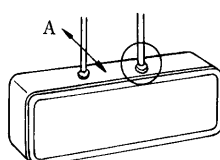


背 面



② パイプ吊下げの時には

器具の平衡を保つために、片面灯はパイプをA方向(背面側)に、両面灯はパイプをB方向(器具中心)にそれぞれずらしてナットを締めてください。



お客様はお読みになったあとも必ず保存してください

- ③ 片面灯、両面灯とも電源はφ20のノックアウトをあげ、付属の電源ブッシュをはめ込み、器具内に電源線を引き込み、器具口出線と結線してください。
- ④ **器具の取り付け高さ**
この器具を室内通路誘導灯としてご使用の際には、器具を床面より2.5m以下に取り付けてください。
(取り付け高さが所轄の消防局により若干の違いがありますのでお確かめください。)
- ⑤ 表示板は化粧枠の左右の押え爪と化粧枠の間をスライドさせて挿入してください。

● 配線方法

- ① 器具と直流電源装置間の配線は耐熱配線とし専用回路にしてください。
- ② 配線の途中には、一般の人が容易に開閉できるような点滅スイッチ(壁スイッチ)等は設けないでください。

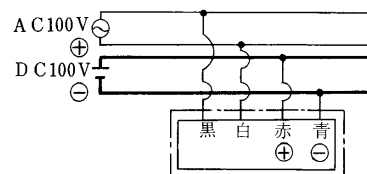
4 線引配線の場合

結線方法：A C電源…白線と黒線にそれぞれ結線してください。

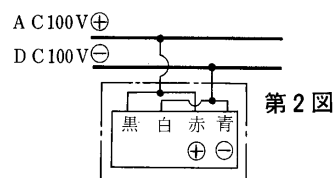
D C電源…電源の⊕側…赤線に接続する。

電源の⊖側…青線に接続する。

D C電源側は**耐熱配線**とし、A C電源と接続に間違いがないよう注意してください。また、D C電源側は極性に合わせて、器具口出線を結線してください。(第1図参照)



第1図



第2図

2 線引配線の場合

結線方法：電源の⊕側…黒線と赤線を一緒に接続する。

電源の⊖側…白線と青線を一緒ににする。接続

配線は**耐熱配線**とし電源の極性に合わせて、器具口出線と、結線してください。(第2図参照)

—— 耐熱配線
(消防法施行規則12条の4のハによる)
—— 一般配線

● 保守、点検方法

定期点検は次の要領で行なってください。

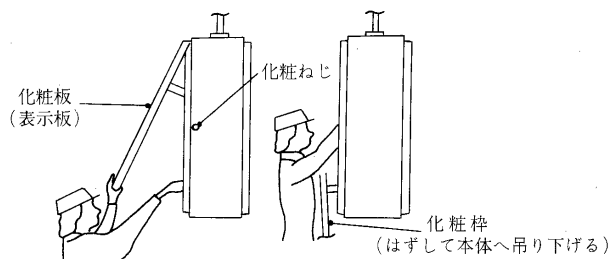
- ① 2 線引配線の場合
D C 給電に切替え、非常点灯するか確認願います。
- ② 4 線引配線の場合
一般電源を切り、次にD C 給電に切替え非常点灯するか確認願います。

● 耐熱配線とは

原則：840℃30分の耐熱試験に耐える耐火措置をした配線をいいます。施行場所や使用電線により、耐火措置の方法が異なります。

● ランプ・点灯管の交換方法

FBL-4251、FBL-4252は化粧ねじをはずし、右図のようにして行なうと便利です。



● ご注意とお願い

- ① この器具は5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際はご注意ください。
- ② ランプ交換や器具の清掃のときは、平常電源および非常用電源を切って行なってください。
- ③ ランプ交換の際は、FBL-3151、FBL-3152の場合、“東芝蛍光ランプネオライン FL32S・W”
FBL-4251、FBL-4252の場合、“東芝蛍光ランプネオラインFL40S・W”をご指定ください。
- ④ 点灯管交換の際は、FBL-3151、FBL-3152の場合、“東芝点灯管FG-5P”
FBL-4251、FBL-4252の場合、“東芝点灯管FG-4P”をご指定ください。

● お手入れのしかた

- ① 器具のお手入れは、平常電源および非常用電源を切って行なってください。
- ② 表示板はぬるま湯または石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ③ 表示板をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナー等の薬品でふかないでください。
- ④ 金属部分をクレンザーやたわしでみがくと傷つけたり、腐食の原因となりますからおやめください。
- ⑤ ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。

● 修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、平常電源および非常用電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

● 仕 様

FBL-3151 FBL-3152	平常時 電源	交流100V 50Hzまたは60Hz	非常時 電源	直流100V
	入力電流 入力電力	0.66 A 39W	入力電流 入力電力	0.18 A 18W
	光源 32W蛍光ランプ(白色) 1 本		光源 32W蛍光ランプ(白色) 1 本	
	重 量 FBL-3151, 8.2kg		FBL-3152, 7.5kg	

FBL-4251 FBL-4252	平常時 電源	交流100V 50Hzまたは60Hz	非常時 電源	直流100V
	入力電流 入力電力	1.71 A 91W	入力電流 入力電力	0.23 A 23W
	光源 40W蛍光ランプ(白色) 2 本		光源40W蛍光ランプ(白色) 1 本	
	重 量 FBL-4251, 13.5 kg		FBL-4252, 11.2kg	

東芝ライテック株式会社
施 設 事 業 部

〒108 東京都港区三田1丁目4番28号(三田国際ビル)
TEL (03) 4 5 7 - 6 1 1 0

点検のポイント

1. 外観チェック
(1)表示板の破損はありませんか。
(2)光源反射板、グローブなどは汚れていませんか。
- 2 切替動作チェック
非常灯が点灯しますか。
3. 性能チェック
点灯持続時間
非常灯切替後20分間点灯が持続しますか。

注意事項

1. 電源は昼夜連続給電願います。
- 2 3ヶ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
3. 万が一うまく動作しない場合、原因がわからない時にはお買い求め先または最寄りの東芝サービスステーションにご連絡下さい。

このたびは東芝非常用照明器具・誘導灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていたくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■施工上のご注意

- ① この器具は、5°C～35°Cの範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際はご注意ください。
- ② 電源電圧は定格値に近く変動の少ないようにしてください。
- ③ 器具は慎重に調整されています。取り付けの際、衝撃を与えたり、内部の改造をしたり、ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。
- ④ 電池内蔵形器具は、電池を通電しないまま蓄電池のコネクターをつないで放置すると、過放電状態になりますのでおやめください。
- ⑤ 電池内蔵形器具を試験する場合、内蔵蓄電池が放電している場合があるため、あらかじめ非常用照明器具は48時間以上、誘導灯は24時間以上充電してください。
- ⑥ 工事が終了してから使用開始されるまで時間がある場合は、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし保存してください。

■保守と点検のお願い

●共通事項

- ① 3ヶ月に1回定期的に非常点灯を行い点検カードにその結果を記入してください。
- ② ランプの端部が黒ずんだり暗くなった時は、床面の必要な明るさが確保できないことがありますので、早めに交換してください。
- ③ ランプ交換の際には、指定されたランプ(適合ランプ)をご使用ください。
- ④ ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。
- ⑤ この器具は高温雰囲気中(140°C以上)で使用されたものは再使用できません。この場合は、新しい器具と交換してください。
- ⑥ 定期点検の際は、非常点灯に切り替わることを必ず確かめてください。
- ⑦ 点灯装置の改造、部品の追加は絶対におやめください。
- ⑧ 点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換してください。

●電池内蔵形器具の場合

- ① この器具の電源は昼夜連続給電してください。
- ② 定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が指定された時間以下の場合には、内蔵の蓄電池を交換してください。指定以外の蓄電池の使用及び、加工などは絶対におやめください。
また、交換の際は必ず、コネクターをはずして交換してください。リード線を切断したりすると蓄電池を損傷させることがあります。また、器具の交換等で器具を処分する際には蓄電池は器具より取りはずしてください。使用済みの蓄電池は捨てないで、お買い求め先またはお近くの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- ③ 蓄電池のヒューズ交換の際には、指定されたものをご使用ください。
- ④ 長時間使用しないときは、消灯するまで蓄電池を放電させてください。
その後、蓄電池のコネクターをはずし保存してください。
- ⑤ 内蔵する蓄電池を有効に動作させるために、6ヶ月に1回充分な放電を行なってください。

●電源別置形器具の場合

- ① ランプは銘板に指定された電源で点灯してください。
- ② この器具の直流点灯(DC100V)は非常時のみとし、また点検の際も点灯時間は2時間以内にしてください。平常時にも直流で長時間点灯しますと、ランプや点灯ユニットに異常を生じる危険があります。